

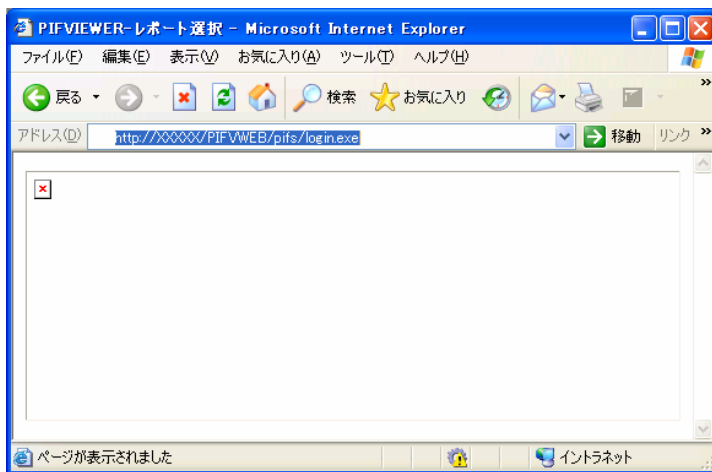
1. インストール障害とは

PIFVIEWER web 機能を使用する際、初回アクセス時又はバージョンアップ時に、クライアントに ActiveX が自動ダウンロード／インストールされます。このダウンロード／インストール作業が行われない、又は昨日まで動作していたが、環境の変更などを行った後に動作しなくなった、などという使用環境に起因する動作不良についての対応を下記に説明します。

※ActiveX プログラム自体の動作不具合や機能不具合に関しては言及しておりません。

2. 障害内容と対処方法

2-1) ログイン後に下記のように、枠のみが表示され何もできない。



<対処方法>

1. Windows ログオンユーザの確認

Windows にログインしているユーザに Administrator 権限があるか確認をする

2. InternetExplorer(以降、IE)の設定で ActiveX やスクリプト関連の設定を確認

以下に示す設定を確認する

3-1 セキュリティの設定を変更し、署名済み ActiveX の使用を許可して下さい。

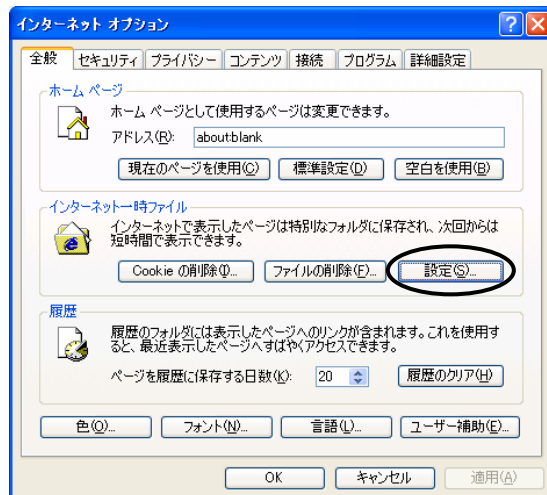
3-2 セキュリティの設定を変更し、Authenticode で署名したコンポーネントの使用を許可して下さい。

3-3 セキュリティ設定を変更し、スクリプトの使用を許可して下さい。

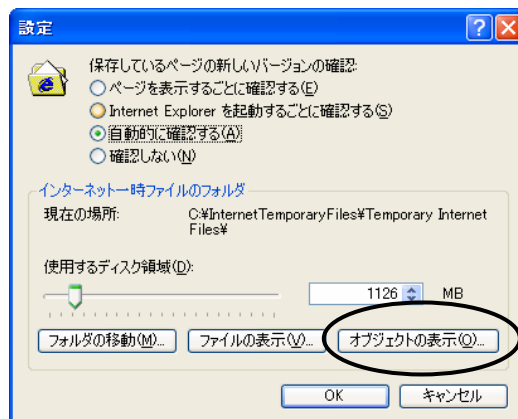
3. インストールする際「いいえ」などを選択しなかったか？

以下の手順で確認を行う事ができます。

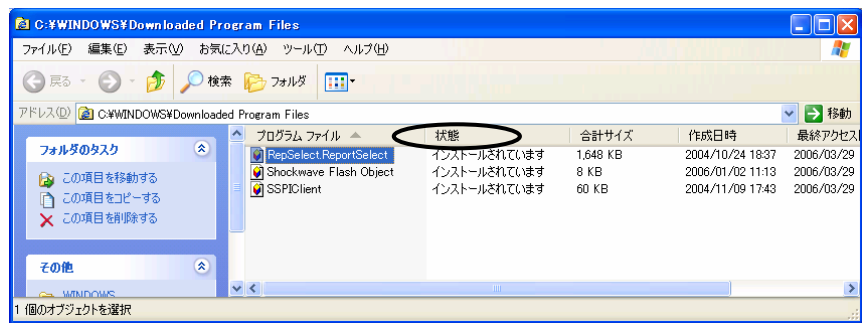
1)IE のメニュー[ツール]―[インターネットオプション]で設定画面を表示する



2)全般タブを選択し、インターネット一時ファイルの「設定」ボタンから「設定」ダイアログを表示する



3) 「設定」ダイアログで「オブジェクトの表示」ボタンをクリックする



4) 「RepSelect.ReportSelect」が正常にインストールされているかを“状態”で確認する

5) 「RepSelect.ReportSelect」がない、又は状態が「インストールされています」以外の場合
不完全な状態でインストールされている可能性があるので、ActiveX を削除して動作の確認を行う

<ActiveX の削除方法>

手順 5)で「RepSelect.ReportSelect」が無い場合は、下記、削除手順 3)まで飛ばして下さい。

1)確認手順にある手順 3)までを処理する

2) 「RepSelect.ReportSelect」を選択し、削除を行う

3)バッチファイル(AcXDel.bat ファイル)を対象 PC 上で実行する

※. セットアップ媒体に梱包されています。(Version 7.0 以降の媒体)

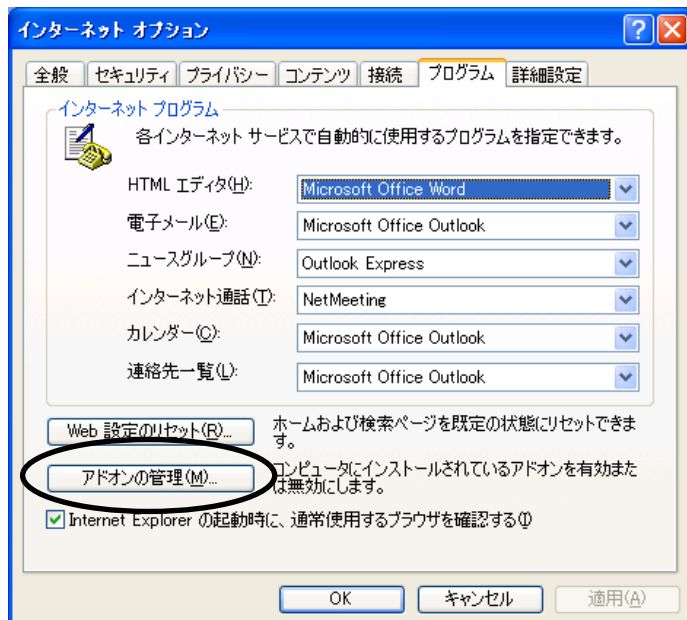
※. ご使用の媒体に梱包されていない場合は、弊社カスタマーサポートまで技術支援受付番号を添えてご連絡下さい。

4)再度、PIFVIEWER Web 機能を使用し、インストール・動作の確認を行う

4. アドオン管理の設定(有効/無効)を確認

この設定は、Windows2000 や IE 5.x の環境では設定できません

1)IE のメニュー[ツール]―[インターネットオプション]を選択し、「プログラム」タブを選択します



2)「アドオンの管理」ボタンをクリックし、「アドオンの管理」画面を表示します

3)下記の名前があるかを確認する。

※該当の名前が無い場合は、ActiveX がインストールされていません。

その場合は、再度、Web 版に接続しインストールを行って下さい

RepSelect.ReportSelect

ShowReport.uscShowReport

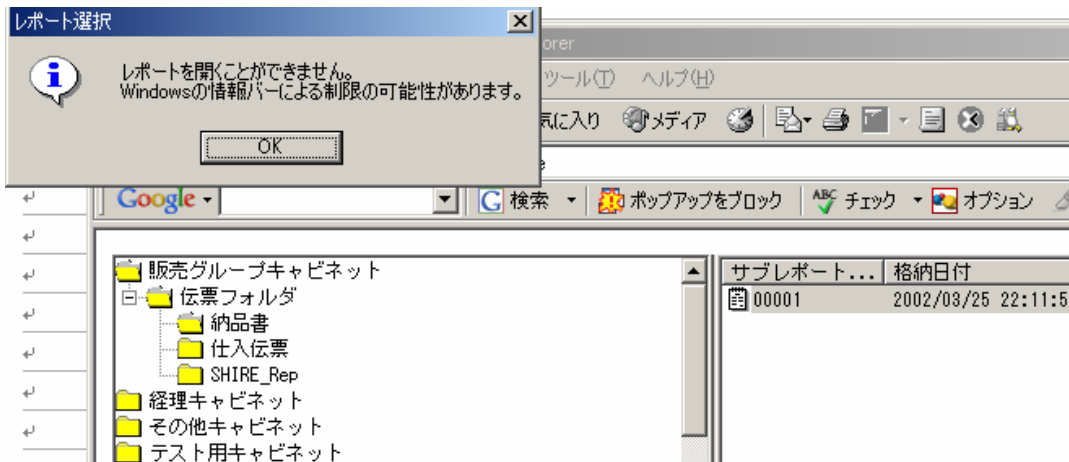
PvSrchList.uscSrchList (※ Version 6.0 Release 4.1 以降)

名前があった場合は、上記に示す<ActiveX の削除方法>を行い、

再度、Web 版に接続し、インストールを行って下さい

2-2) レポートを開く際に下記メッセージが表示される

もしくは、IE がストールしてしまっている(※Version6.0 Release4.1 以降ではストールしない)



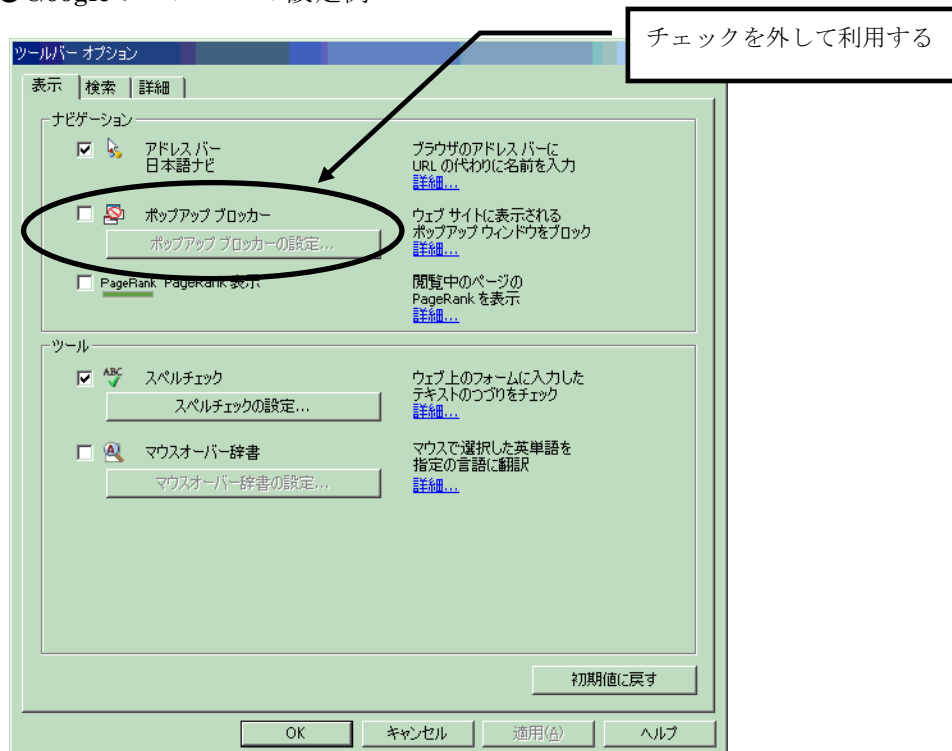
1. ポップアップブロッカーの動作を確認

以下に示す設定を確認する

1-1 IE のポップアップブロッカーが「有効」になっていないか確認する

1-2 Yahoo!や Google のツールバーなどで、ポップアップブロッカーが働いていないか確認する

●Google ツールバーの設定例



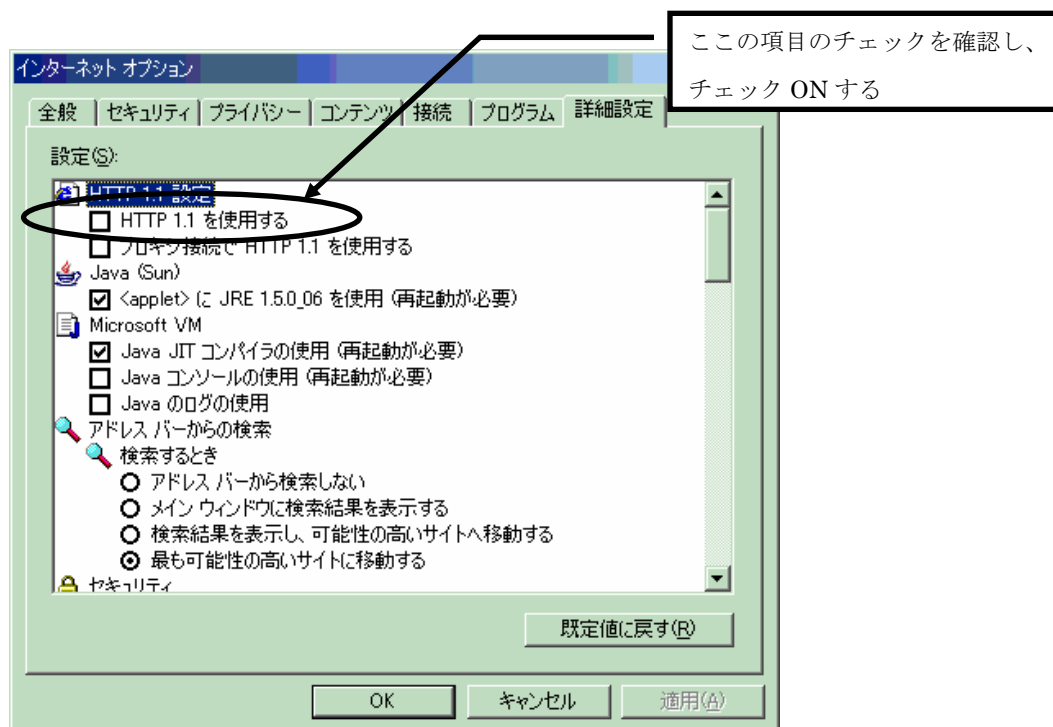
2. Web サーバの設定を確認する

Web 起動環境定義画面 「URL」の項目と、クライアントから指示する URL とで、
ホスト名 or IP アドレスに相違がないか確認する。



2-3) フォルダー一覧を取得時に「取得に失敗しました」とエラーメッセージが表示される

IE のメニュー[ツール]-[インターネットオプション]を選択し、「詳細設定」タブを選択します。
HTTP1.1 設定の「HTTP1.1 を使用する」にチェックが入っているか確認をする。



2-4) 下記のような「エラー表示画面」のメッセージが表示される(2006年4月25日現在)

●エラーメッセージ：接続処理に失敗しました[2112]

グループの指定が不正の場合に出力されるメッセージ
ログイン時のグループ ID を確認する

●エラーメッセージ：接続処理に失敗しました[2113]

ログインユーザが不正の場合に出力されるメッセージ
ログイン時のユーザを確認する(大文字／小文字を区別します)

●エラーメッセージ：接続か処理に失敗しました[2115]

ログインのパスワードが不正の場合に出力されるメッセージ
ログイン時のパスワードを確認する(大文字／小文字を区別します)

●エラーメッセージ：接続処理に失敗しました[2116]

画面の使用権が無い場合に出力されるメッセージ
以下の手順で各ユーザに使用権を与える

<グループ管理者ユーザの場合>

1. 「サーバ起動環境定義」画面を起動します
(Version6.0 以前の物件をご使用の方は、「グループ定義」画面で作業します)
2. ログインし、「運用環境定義」タブを選択します
3. [グループ設定]ボタンをクリックします
4. 該当するグループ ID を選択し、[登録／更新]ボタンをクリックします

<グループ管理者以外のユーザの場合>

1. クライアント画面の「ユーザ定義」画面を起動します
2. 該当するユーザ情報を更新します
3. 「使用可能画面」タブを選択します
4. 「CGI ゲートウェイ」にチェックを入れます

●エラーメッセージ：接続処理に失敗しました[2117]

アカウント(ログインユーザ)が利用できない場合に出力されるメッセージ
グループを管理する画面が起動されている場合があります

●エラーメッセージ：接続処理に失敗しました[301]

コネクションの確立ができない場合に出力されるメッセージ
Web サーバと PIF サーバのネットワークの問題や
アドレス解決ができていない場合にも表示される
また、PIFVIEWER サーバが起動されていない場合も表示される

